

国立大学法人等施設整備に関する状況

1. 「東日本大震災からの復興の基本方針骨子」関連部分
抜粋（H23. 7. 21 東日本大震災復興対策本部） . . . 1

2. 平成 24 年度国立大学法人等施設整備予定事業
の執行状況 3

3. 次期施設整備 5 年計画の検討状況 11

東日本大震災からの復興の基本方針骨子（関連部分抜粋）

（平成23年7月21日、東日本大震災復興対策本部）

1 基本的考え方

2 復興期間

3 対象施策

政府は、東日本大震災からの復興のため、以下の施策を実施。

- －被災地域の復旧・復興及び被災者の暮らしの再生のための施策
- －被災者の避難先となっている地域や震災による著しい悪影響が社会経済に及んでいる地域など被災地域と密接に関連する地域において、被災地域の復旧・復興のために一体不可分のものとして緊急に実施すべき施策
- －上記と同様の施策のうち、東日本大震災を教訓として、全国的に緊急に実施する必要性が高く、即効性のある防災、減災等のための施策

4 あらゆる力を合わせた復興支援

- (1) 国の総力を挙げた取組み
- (2) 民間の力による復興
- (3) 事業規模と財源確保

5 復興施策

(1) 災害に強い地域づくり

(2) 地域における暮らしの再生

（学校施設・教育）

- (i) 避難場所となる学校等について、減災の考え方に基づき、各種施設の整備等のハード面と教職員の役割等ソフト面から防災機能を強化。（略）
- (iv) 被災地において、グローバル化や産業の高度化など地域社会・地元産業のニーズに対する人材育成を推進するため、先進的な教育の実施や、産学官の連携による大学、高専、専門学校、専門高校等の取組みに対する支援を実施。

(3) 地域経済活動の再生

（企業、産業・技術）

- (v) 被災地の大学・高専・専門学校・公的研究機関等や産業が強みを有する分野を中核として、研究基盤の早期回復・相互補完機能を含めた強化や共同研究開発の推進等により、産業集積、新産業創出及び雇用創出等を促進。産学官連携により、中長期的・継続的・弾力的な支援スキームによって、復興を支える技術革新を促進するとともに、大学等における復興のためのセンター的機能を整備。

(4) 大震災の教訓を踏まえた国づくり

(今後の災害への備え)

(ix) 医療施設等の防災対策の強化。(略) 学校・試験研究機関の防災対策の推進や危機管理機能のバックアップ。

(震災に関する学術調査、災害の記録と伝承)

(i) 今後の防災対策の詳細な調査研究。その際、地震・津波の発生メカニズムの分析・解明やこれまでの防災対策の再検証やリスクコミュニケーションのあり方の検証等。

(ii) 大震災に関する研究、国際共同研究を推進。

6 原子力災害からの復興

(v) 福島県においては、放射性物質による汚染を除去する必要があるため、大学、研究機関、民間企業等の協力の下、内外の英知を結集する開かれた研究拠点を形成。

7 復興支援の体制等

(1) 復興対策本部・現地対策本部の役割

(2) 復興庁(仮称)の検討

(3) フォローアップ等

平成23年度国立大学法人施設整備実施予定事業の執行状況

(平成23年7月29日現在)

平成23年度国立大学法人施設整備実施予定事業の一部について、東日本大震災の影響により、以下のとおり執行が留保中。

※ 詳細は別添のとおり（網掛け部分が現時点で執行留保中の事業）。

1. 継続事業 → 4/15 全事業交付済

- (1) 耐震対策事業 (3事業)
- (2) 最先端研究施設の整備 (2事業)
- (3) 大学附属病院の再生 (20事業)
- (4) PFI事業 (27事業)

2. 新規事業 → 74事業中 11事業が留保中

- (1) 老朽再生整備
 - ① 耐震対策事業 (34事業) → 4/28 交付済
 - ② 機能改善事業 (4事業) → 留保中
- (2) 最先端研究施設の整備 (4事業) → 留保中
- (3) 大学附属病院の再生 (32事業) → 7/1 交付済 (29事業)
留保中 (3事業)

平成23年度国立大学法人等施設整備実施予定事業

	法人名	団地等名	事業名	備考
1	北海道大学	札幌	環境資源バイオサイエンス研究棟改修 施設整備等事業 (PFI事業 14-7)	継続事業 (PFI事業)
2	岩手大学	上田	総合研究棟改修 (環境系)	新規事業 (耐震対策)
3	東北大学	片平	総合研究棟改修 (流体科学系)	新規事業 (耐震対策)
4		星陵	メディカルサイエンス拠点施設	新規事業 (先端施設)
5		医病	基幹・環境整備 (屋外電力線更新等)	新規事業 (病院再生)
6		医病	外来診療棟改修	継続事業 (病院再生)
7		三条	学生寄宿舎施設整備事業 (PFI事業 13-6)	継続事業 (PFI事業)
8	秋田大学	医病	病棟改修等	継続事業 (病院再生)
9		医病	外来棟・中央診療棟改修	継続事業 (病院再生)
10	山形大学	小白川	総合研究棟改修Ⅱ期 (教養教育)	新規事業 (耐震対策)
11		医病	外来棟・中央診療棟改修	新規事業 (病院再生)
12	筑波大学	春日	総合研究棟耐震改修 (情報学系)	新規事業 (耐震対策)
13		筑波	生命科学動物資源センター 施設整備等事業 (PFI事業 13-7)	継続事業 (PFI事業)
14	群馬大学	荒牧	総合研究棟改修 (教養教育)	新規事業 (耐震対策)
15	千葉大学	松戸	総合研究棟改修 (園芸学系)	新規事業 (耐震対策)
16		西千葉	総合学生支援センター改修	新規事業 (耐震対策)
17		医病	外来診療棟	新規事業 (病院再生)
18		西千葉	図書館改修	継続事業 (耐震対策)
19	東京大学	白金台	総合研究棟改修 (医学系)	新規事業 (機能改善)
20		医病	基幹・環境整備 (支障建物撤去等)	新規事業 (病院再生)
21		本郷	総合研究棟 (分子細胞生物学研究・農学生命科学)	継続事業 (先端施設)
22		駒場Ⅱ	駒場オープンラボラトリー 施設整備事業 (PFI事業 13-7)	継続事業 (PFI事業)
23		本郷	(地震) 総合研究棟 施設整備事業 (PFI事業 13-7)	継続事業 (PFI事業)
24		柏	総合研究棟 (環境学研究系) 施設整備事業 (PFI事業 12-6)	継続事業 (PFI事業)
25		駒場Ⅰ	駒場コミュニケーション・プラザ 施設整備事業 (PFI事業 13-6)	継続事業 (PFI事業)

平成23年度国立大学法人等施設整備実施予定事業

	法人名	団地等名	事業名	備考
26	(東京大学)	本郷	総合研究棟(工学部新3号館)(PFI事業)	継続事業 (PFI事業)
27	東京医科歯科大学	湯島	医学系研究棟取壊し	新規事業 (耐震対策)
28		医病	基幹・環境整備(歩行者用デッキ等)	新規事業 (病院再生)
29		歯病	基幹・環境整備 (旧歯科外来事務棟空調機更新等)	新規事業 (病院再生)
30		医病・歯病	基幹・環境整備(蒸気ボイラー等更新)	新規事業 (病院再生)
31	東京農工大学	小金井	科学博物館本館改修	新規事業 (耐震対策)
32	東京工業大学	大岡山	グリーンマテリアル・イノベーション拠点施設	新規事業 (先端施設)
33		すずかけ台	合同棟3号館(PFI事業)	継続事業 (PFI事業)
34	東京海洋大学	品川	総合研究棟改修(食品生産科学系)	新規事業 (機能改善)
35	電気通信大学	調布	本部棟耐震改修	新規事業 (耐震対策)
36	一橋大学	国立	総合研究棟改修(社会科学統計情報系)	新規事業 (耐震対策)
37	横浜国立大学	常盤台	学生支援センター改修	新規事業 (耐震対策)
38	新潟大学	五十嵐	図書館改修	新規事業 (耐震対策)
39		医・歯病	西診療棟改修	新規事業 (病院再生)
40		医・歯病	外来診療棟	継続事業 (病院再生)
41	富山大学	医病	病棟等改修	新規事業 (病院再生)
42	金沢大学	宝町	図書館改修	新規事業 (耐震対策)
43		医病	基幹・環境整備(屋外環境整備)	新規事業 (病院再生)
44		宝町	総合研究棟I(医学系)	継続事業 (耐震対策)
45		角間II	附属図書館等棟施設整備事業 (PFI事業 14-8)	継続事業 (PFI事業)
46		宝町	総合研究棟改修施設整備等事業 (PFI事業 14-7)	継続事業 (PFI事業)
47	福井大学	医病	病棟	新規事業 (病院再生)
48		医病	基幹・環境整備(高圧配電盤II)	新規事業 (病院再生)
49		医病	基幹・環境整備(放射線部空調設備)	新規事業 (病院再生)
50	信州大学	南箕輪	総合研究棟改修(農学系)	新規事業 (耐震対策)

平成23年度国立大学法人等施設整備実施予定事業

	法人名	団地等名	事業名	備考
51	(信州大学)	医病	基幹・環境整備(中央監視装置等)	新規事業 (病院再生)
52	岐阜大学	柳戸	総合研究棟施設整備事業 (PFI事業 14-8)	継続事業 (PFI事業)
53	静岡大学	蛸塚	学生寄宿舎耐震改修	新規事業 (耐震対策)
54		城北	総合研究棟改修Ⅱ期(工学系)	新規事業 (機能改善)
55	浜松医科大学	医病	附属病院改修	継続事業 (病院再生)
56	名古屋大学	東山	総合研究棟(地域環境系)	新規事業 (耐震対策)
57		東山	総合研究棟(理・農学系)	継続事業 (先端施設)
58		医病	総合周産期母子センター改修	継続事業 (病院再生)
59	三重大学	上浜	動物実験施設改修	新規事業 (耐震対策)
60		医病	外来・診療棟	新規事業 (病院再生)
61		医病	病棟・診療棟	継続事業 (病院再生)
62	滋賀大学	石山	図書館・管理棟改修	新規事業 (耐震対策)
63	滋賀医科大学	瀬田月輪	総合研究棟改修(医学系)	新規事業 (機能改善)
64		医病	中央診療棟・外来棟改修	継続事業 (病院再生)
65	京都大学	吉田	総合研究棟改修(工学系)	新規事業 (耐震対策)
66		吉田	国際人材育成拠点施設	新規事業 (先端施設)
67		桂	総合研究棟Ⅴ、福利・保健管理棟 施設整備事業(PFI事業 13-7)	継続事業 (PFI事業)
68		吉田	総合研究棟改修(農学部総合館) 施設整備等事業(PFI事業 13-6)	継続事業 (PFI事業)
69		吉田	総合研究棟施設整備事業 (PFI事業 14-8)	継続事業 (PFI事業)
70		桂	総合研究棟Ⅲ(物理系)等施設整備事業(PFI事業)	継続事業 (PFI事業)
71	大阪大学	吹田	総合研究棟改修(人間科学系)	新規事業 (耐震対策)
72		吹田	総合研究棟改修(微生物系)	新規事業 (耐震対策)
73		吹田	バイオテクノロジー国際交流拠点施設	新規事業 (先端施設)
74		医病	基幹・環境整備(防災設備等改修)	新規事業 (病院再生)
75		豊中	学生交流棟施設整備事業 (PFI事業 13-7)	継続事業 (PFI事業)

平成23年度国立大学法人等施設整備実施予定事業

	法人名	団地等名	事業名	備考
76	(大阪大学)	吹田	研究棟改修(工学部) 施設整備等事業(PFI事業13-6)	継続事業 (PFI事業)
77	神戸大学	住吉 (附中等)	校舎改修	新規事業 (耐震対策)
78		医病	低侵襲総合診療棟	新規事業 (病院再生)
79	鳥取大学	医病	基幹・環境整備(空調設備等)	新規事業 (病院再生)
80	島根大学	医病	基幹・環境整備(配電設備等)	新規事業 (病院再生)
81		医病	病棟	継続事業 (病院再生)
82		医病	病棟等改修	継続事業 (病院再生)
83	岡山大学	鹿田	総合研究棟耐震改修(医学系)	新規事業 (耐震対策)
84		津島	総合研究棟改修(文法経系)	新規事業 (耐震対策)
85		医病	基幹・環境整備(冷熱源設備等)	新規事業 (病院再生)
86		医病	中央診療棟	継続事業 (病院再生)
87	広島大学	翠 (附中高)	校舎改修	新規事業 (耐震対策)
88		医病	診療棟	継続事業 (病院再生)
89		医病	入院棟等改修	継続事業 (病院再生)
90	徳島大学	蔵本	図書館改修	新規事業 (耐震対策)
91		医病	基幹・環境整備(臨床研究棟取り壊し等)	新規事業 (病院再生)
92	香川大学	幸町	総合研究棟改修(経済学系)	新規事業 (耐震対策)
93		医病	病棟	新規事業 (病院再生)
94	愛媛大学	重信	総合研究棟改修(医学系)	新規事業 (耐震対策)
95	高知大学	医病	新病棟増築	新規事業 (病院再生)
96		医病	基幹・環境整備(特高受変電設備更新)	継続事業 (病院再生)
97	九州大学	医病	基幹・環境整備(外構整備)	新規事業 (病院再生)
98		伊都	研究教育棟I施設整備事業 (PFI事業12-6)	継続事業 (PFI事業)
99		伊都	生活支援施設ウエストII、学生寄宿舍I 施設整備等事業(PFI事業13-6)	継続事業 (PFI事業)
100		伊都	実験施設等施設整備事業 (PFI事業14-5)	継続事業 (PFI事業)

平成23年度国立大学法人等施設整備実施予定事業

	法人名	団地等名	事業名	備考
101	(九州大学)	馬出	総合研究棟改修(旧医学部基礎A棟) 施設整備等事業(PFI事業13-6)	継続事業 (PFI事業)
102	九州工業大学	戸畑	教育研究戦略本部棟改修	新規事業 (耐震対策)
103	佐賀大学	医病	病棟・診療棟	新規事業 (病院再生)
104	長崎大学	文教町	総合研究棟改修(教育学系)	新規事業 (耐震対策)
105		医病	基幹・環境整備(正門ロータリー他)	新規事業 (病院再生)
106		医病	基幹・環境整備(給水センター他)	新規事業 (病院再生)
107		坂本	総合研究棟改修(医学系)	継続事業 (耐震対策)
108		医病	外来棟他改修	継続事業 (病院再生)
109		医病	基幹・環境整備(特高受変電設備等更新)	継続事業 (病院再生)
110		医病	感染症センター改修	継続事業 (病院再生)
111	熊本大学	黒髪(附特)	校舎改修	新規事業 (耐震対策)
112		医病	外来診療棟	新規事業 (病院再生)
113		医病	基幹・環境整備 (第6病棟等支障建物取り壊し他)	新規事業 (病院再生)
114		黒髪南	工学部他校舎改修 施設整備等事業(PFI事業14-7)	継続事業 (PFI事業)
115		本荘	発生医学研究センター 施設整備事業(PFI事業13-7)	継続事業 (PFI事業)
116	大分大学	旦野原	図書館改修	新規事業 (耐震対策)
117		医病	新病棟	継続事業 (病院再生)
118	宮崎大学	医病	東病棟等改修	新規事業 (病院再生)
119		医病	基幹・環境整備(道路・外灯等改修)	新規事業 (病院再生)
120		医病	附属病院(中央診療部等)改修	継続事業 (病院再生)
121	鹿児島大学	医・歯病	基幹・環境整備(共同溝等)	新規事業 (病院再生)
122		郡元	環境バイオ研究棟等改修 施設整備等事業(PFI事業14-7)	継続事業 (PFI事業)
123		医・歯病	病棟	継続事業 (病院再生)
124	政策研究大学院大学	六本木	施設整備事業 (PFI事業14-8)	継続事業 (PFI事業)
125	人間文化研究機構	上賀茂	(地球研)施設整備事業 (PFI事業13-7)	継続事業 (PFI事業)

平成23年度国立大学法人等施設整備実施予定事業

	法人名	団地等名	事業名	備考
126	自然科学研究機構	明大寺	実験研究棟改修（生理研）	新規事業 (耐震対策)
127	呉工業高等専門学校	豊栄	ライフライン再生（屋外排水設備）	新規事業 (機能改善)
128	徳山工業高等専門学校	高城	校舎改修（機械電気系）	新規事業 (耐震対策)
129	熊本高等専門学校	須屋	I C T 活用学習センター改修	新規事業 (耐震対策)

注) 団地等名欄に、「医病」「歯病」等の記載がある事業は施設整備費補助金及び財政融資資金を財源とする事業

ただし、No55、No110、No120は、医療施設耐震化臨時特例交付金(厚生労働省)及び財政融資資金を財源とする事業

次期施設整備5か年計画（H23～27）の検討状況 ～東日本大震災の被害を踏まえた見直しを実施～

平成23年7月

1. これまでの経緯と今後の予定

- 次期施設整備5か年計画（平成23～27年度）については、本年3月の策定を目指して検討を進めてきた。
- しかしながら、3月11日に発生した東日本大震災により、総合科学技術会議は、本年3月に閣議決定を予定していた第4期科学技術基本計画の再検討を決定（8月の策定を目指して検討中）。
- このことを踏まえ、次期施設整備5か年計画についても、所要の見直しを図ることとし、8月末の策定を目指して検討中。

調査研究協力者会議 (主査：木村 孟 東京都教育委員会委員長)			
平成20年12月		会議設置	
平成21年	8月	第一次中間まとめ	
平成22年	8月	第二次中間まとめ	
平成23年	2月	第14回会議	(報告書主査一任)
東日本大震災の被害を踏まえ、所要の見直しを図ることを決定			
平成23年	7月6日	第15回会議	(見直しの方向性の検討)
	7月27日	第16回会議	(報告書(案)の検討)
	8月	(調整後) 報告書とりまとめ	<予定>
		次期施設整備5か年計画策定	<予定>

2. 報告書(案)のポイント

東日本大震災における被害と課題、対応方を整理。

下線部は震災を踏まえた見直し箇所を示す

国立大学法人等施設の現状と課題

- ・ 膨大な老朽施設の改善需要
- ・ 医療機能の低下
- ・ 地球環境問題への対応
- ・ 諸外国からの遅れ
- ・ 教育研究の進展に伴う狭隘
- ・ 施設整備費の不足
- ・ 政策的課題・社会的要請への対応

上記に加え、東日本大震災における被害と課題を追加検討

東日本大震災における建物等の被害と課題

被害

- ・ 被害は30法人(76校)、被害額537億円
(平成23年6月22日現在、被害額は各法人による概算額の合計)
- ・ 耐震未補強の施設において、柱等の構造部材に大きな被害
- ・ 耐震補強の有無に関わらず、天井材などの非構造部材や実験研究設備、基幹設備(ライフライン)等に大きな被害
- ・ 震災直後の外部電源の途絶により、貴重な研究試料を喪失
- ・ 沿岸部に位置する一部の大学施設は、津波により壊滅的な被害

課題

- ・ 構造部材、非構造部材(内装材、外壁等)、基幹設備(ライフライン)の耐震化
- ・ 実験研究設備の防災対策の強化
- ・ 停電時に必要最小限の電力等を確保できる環境づくり
- ・ 津波被害の減災に向けた取組
- ・ 省資源・省エネルギーの更なる推進

下線部は震災を踏まえた見直し箇所を示す

計画的・重点的な施設整備の基本的な考え方

- ・ 質的向上への戦略的整備 Strategy-
 - 教育研究等への効果が高い施設に対するカテゴリ別の優先的な施設整備の推進 等
- ・ 地球環境に配慮した教育研究環境の実現 Sustainability-
 - 老朽施設のエコ再生、再生可能エネルギーの導入、最先端の環境対策の推進 等

※下線部は震災を踏まえた見直し箇所を示す

- ・ 安全な教育研究環境の確保 -Safety-
 - －「耐震化ロードマップ」策定による耐震化の推進、老朽施設の計画的な施設整備の推進、
災害時に必要最小限の電力等を確保する設備の整備、実験研究設備の防災対策強化、津波による被害を減災するための避難経路の整備 等

● 重点的な施設整備の内容（約550万㎡）

- ・ 安全性・機能性に問題のある老朽施設等の改善（約400万㎡）
 - －安全で災害に強い教育研究環境の形成を目指す
 - －次期5か年間で耐震化の完了を目指す「耐震化ロードマップ」の策定
 - －保有施設を安定した維持管理・更新が可能な定常状態に導くとともに、機能劣化の著しい基幹設備（ライフライン）の改善を実施 等
- ・ 高度化・多様化する教育研究活動の実施に不可欠なスペースの確保（約80万㎡）
 - －政策的課題や社会的要請による新たな教育研究ニーズ（卓越した教育研究拠点の形成、ポストドクター等の若手研究者・留学生の増加等）への対応 等
- ・ 先端医療・地域医療に対応した大学附属病院の再生
(約70万㎡)
 - －大学附属病院再開発整備の計画的・継続的实施、最新の医療ニーズへの適切な対応、災害時における救命救急医療の拠点としての整備 等

● システム改革の推進

- ・ 施設マネジメントの推進（実験研究設備の安全対策を全学的に実施）、多様な財源を活用した施設整備の推進、人材の育成（学内において安全面や環境面で企画提案・助言ができる職員の育成） 等

● 計画のフォローアップ

- －施設整備によって得られる成果について多角的に把握し、施設整備の推進に活用

東日本大震災による国立大学法人等施設の被害状況

先般の東日本大震災では、耐震性能が劣る施設の被害はもとより、耐震性能を有する施設においても内装材等（いわゆる非構造部材）にも大きな被害が生じたほか、老朽化により脆弱となった基幹設備（ライフライン）の多くが被害を受けた。

構造部材の破壊

建物崩壊には至っていないが、構造部材が大きく損傷（余震等で崩壊に繋がる危険性）。



東北大学（柱の崩壊）



東北大学（塔屋の崩壊）

非構造部材の崩壊

耐震化されていない非構造部材（天井、照明、内壁等）が崩壊。



東北大学（実験機器等の破損）



茨城大学（内装材の崩落）

基幹設備(ライフライン)の崩壊

老朽化したライフライン設備（ガス、給排水管、電気設備等）に損傷が生じており、電気、水道、ガスの停止により、教育研究活動が停止。



筑波大学（排水管の破損）



高エネルギー加速器研究機構
（受水槽の破損）

津波による建物等の損壊

津波による建物等の損壊や屋外施設の流出、浸水に伴う室内損壊などにより、壊滅的な被害を生じている。



東北大学（建物の流出）



東京大学（津波による建物等の損壊）